

連合山形「第28回定期大会」を開催

～2016～2017年度の活動方針を決定～

連合山形は、「ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ 『安心社会』を切り拓こう！」をスローガンに、11月5日（木）大手門パルズにおいて第28回定期大会を開催しました。

大会は、五十嵐りら代議員（電機連合）、阿部智紀代議員（県教組）を議長団に選出し進行され、岡田会長代行が、「春闘の取り組みについては、格差是正と全体の底上げに向けて要求書を提出し、地域に根差した春闘の運動にしていこう。安倍政権が進めようとしている残業代ゼロ法案など労働基準法の改悪を阻止し、これ以上格差と差別を拡大しない取り組みをしなければならない。」などと挨拶しました。また、来年夏に予定される参院選にふれ、「政治は私たちの働き方や暮らしに直結している。政治に無関心であっても政治と無関係にはなりえない。民主党、社民党と連携して、非自民で闘いうる候補者の擁立を年内中に取り組んでいきたい。」と述べました。

連合本部より神津会長、吉村山形県知事、佐藤山形市長、近藤民主党県総支部会長（衆議院議員）、吉泉社民党県連代表、労働者福祉事業団体を代表して大泉東北労金県本部長からの来賓のあいさつを受けた後、「一般経過報告」「第1号議案～第6号議案」の審議が進められ、満場一致で承認されました。

今後2年の活動方針では、1000万人連合実現に向けた組織拡大・組織強化の着実な前進を掲げたほか、非正規労働者・未組織労働者・若者支援と参加の促進、「働くことを軸とする安心社会」に向けた政策・制度の取り組み、労働条件の底上げと社会的横断化の促進とディーセントワークの実現、男女平等社会の実現に向けた平等参画の強化、

政策実現に向けた政治活動の強化などを挙げました。

2015年度に新たに連合山形に仲間入りした「高齢・障害者雇用支援機構労働組合山形分会（政労連）」「新庄最上地域シルバー人材職員労働組合（れんごう山形ユニオン）」が紹介され、会場からあたたかい応援の拍手で激励されました。

役員改選では、9名の役員が退任され、会長に岡田新一氏（自治労）、事務局長に設楽正氏（情報労連）が就き、新たな執行体制となりました。

最後に、「ディーセントワーク世界行動デー2015の取り組み」と岡田新会長による「団結ガンバロー」で大会を締めくくり、新体制による運動がスタートしました。

退任されたなかで、連合山形の発展に功績があったとして細谷真副会長、熊澤年啓副会長、齋藤健副会長、千場一弘副会長、森俊幸事務局長、八木忍会計監査、草薨智彦会計監査、須田純一会計監査が表彰されました。



岡田新一会長



設楽正事務局長

【質問・意見】



小野代議員（高教組）

県労福協で作成した「労働ハンドブック」を活用した出前講座に対して感謝するが、実施時期が学校行事の集中している時期なので通年実施を検討願いたい。また、高校生の県内就職率が好調となっており今後とも支援願いたい。震災による被災児童は、山形県で1,105人となっているが、今後とも支援活動へのご協力を願いたい。労福協を中心に取り組んでいる「奨学金問題」について、連合としても学習会や行動を実施し取り組んでほしい。18歳への投票年齢引き下げによる「主権者教育」が進められており、高校生の政治活動・集会参加等一部容認されたが、この取り組みについては、各構成組織が慎重に対応いただき、教育現場が混乱しないよう配慮いただきたい。来春より施行される「障がい者差別解消法」について内容の理解とともに、今後どのような運動を行っていくのか提起を願いたい。



渡部代議員（自治労）

先に実施された山形市長選に対する連合山形としての総括が記載されていないが、各構成組織の選挙への取り組み視点と姿勢を明確にして、来夏の参議院選に繋げるよう対応してほしい。成立した「安全関連補償法案」を廃案に追い込むため来夏の参議院選挙での焦点や多彩な廃案活動に取り組んでほしい。



大沼特別代議員
（女性委員会）

女性委員会活動へのご協力に感謝する。職場の女性課題を前進させたという報告もあり、今後の取り組み強化をよろしく願いたい。

連合山形 第14期（2016～2017年度）役員

役職名	氏名	構成組織名	役職名	氏名	構成組織名
会長 副会長	岡田新一	自治労	執行委員	高橋末雄	交通労連
	小口裕一	県教組		大場暁	運輸労連
	水戸吉一	交通労連		伊藤功	自治労組
	角谷俊一	U A ゼンセン		佐藤克	高教組
	井上雄吾	電機連合		石沢芳一	J P 労組
	丹野忍	情報労連		佐藤剛	森林労連
	金子浩	J A M		原田薫	国公総連
	伊藤幹男	電力総連		逸見研	県教組
	伊藤伊織	自治労組		伊藤智也	電機連合
	伊藤学	J P 労組		菅原弘光	情報労連
事務局長 副事務局長	設楽正悟	情報労連	今野朋明	全水道	
	館内悟	電力総連	木口久仁子	女性委員会(J P 労組)	
執行委員	小川修平	連合山形	小松諒子	女性委員会(電機連合)	
	浦瀧靖裕	自動車総連	加藤理	青年委員会(UAゼンセン)	
	長岡敦夫	U A ゼンセン	本間光祐	青年委員会(自治労)	
	佐藤修一	J A M	木根宏樹	J A M	
	近藤雅彦	電力総連	芳賀晃一	労金労組	
	沼信之	基幹労連	遠藤栄	全自交労連	
	大皆本起良	J R 総連			
			会計監査		

退任された役員のみなさま

本大会で、9人の方が退任されました。大変お疲れ様でした。（敬称略）

- 副会長 細谷 眞 (J A M)、齋藤 健 (電力総連)、千場 一弘 (J P 労組)
- 事務局長 森 俊幸 (電機連合)
- 執行委員 加藤 星美 (女性委員会)、佐々木 久美子 (女性委員会)
- 会計監査 八木 忍 (J A M)、草薨 智彦 (J R 連合)、須田 純一 (労金労組)

2015「山形県労使共同セミナー」が開催

10月9日（金）大手門パルズにおいて、（一社）山形県経営者協会と連合山形による2015「山形県労使セミナー」が開催され、86名が参加しました。

今年度のセミナーは、「ストレスチェック制度について」と題して、山形産業保健総合支援センター産業保健相談員で川越医院副院長の神村裕子先生より講演していただきました。「ストレスチェック」とは、ストレスに関する質問票（選択回答）に労働者が記入し、それを集計・分析することで、自分のストレスがどのような状態にあるのかを調べる簡単な検査です。「労働安全衛生法」が改正されて、労働者が550人以上いる事業所では、2015年12月から、毎年1回、この検査を全ての労働者に対して実施することが義務付けられました。



2015山形県男女共生集会を開催

10月30日（金）、連合山形男女平等行動委員会が主催する「2015山形県男女共生集会」が、大手門パルズにおいて開催されました。

今年は、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとし、NPO法人ファザーリング・ジャパン講師である武田靖子さん（ジョインセレモニー常務取締役）による「『ワーク・ライフ・バランス実践講座』～FJのこれからの働き方生き方～」と題した講演と学習を行いました。



実践講座の中では、「良いイクボス」と「ダメボス」を話し合うロールプレイも取り入れられ、参加型の集会となりました。

アンケートには、「会社でWLB（ワーク・ライフ・バランス）の取り組みを行っているが、簡単な講演会だけで本当に浸透していない。」「年休取得の推進としているが、業務量や人員確保が改善されなく、進まない。」「イクボスが増えれば、環境も良くなるし、企業業績も上がる。上司したい。」などが挙げられました。

吉村知事に連合山形の政策要請書を提出

11月16日（月）、連合山形は、2016年度の山形県予算編成に向けた要請書を吉村知事に提出しました。

連合山形の岡田会長から、「行政改革」「雇用・労働」「産業・環境政策」「社会保障」「教育政策」の5つの部会から58項目にわたる要請書が吉村知事に渡され、その後、連合山形三役らと意見交換を行いました。

ものづくり政策の推進に関する要請項目について吉村知事は、「ものづくりは本県の強みであり、力を付けることで雇用が広がる。一緒に取り組んでいきたい。」と話されました。

12月24日（木）には、この要請書に関する県の所管担当者との意見交換会が予定されており、予算編成において連合山形の要請が反映されるようにしたいと考えております。



連合山形青年委員会「第26回総会」を開催

10月30日（金）、大手門パルズにおいて連合山形青年委員会「第26回総会」が開催され、2016年度の活動方針と新たな役員体制を決定しました。総会では、「安心社会の実現をめざし、連合山形に集まる青年労働者と連帯の輪を広げ、学習と交流を深めていこう。現在と過去を学習し、未来に向けた意思統一を図り、具体的な取り組みを掲げ実践していこう。」と活動方針を確認しました。役員改選では、10人の役員が交代、加藤委員長（U Aゼンセン）が再任となりました。



役職名	氏名	構成組織名	区分	役職名	氏名	構成組織名	区分
委員長	加藤 理	U Aゼンセン (ヤマザワ労組)	再任	幹事	三澤 純 祐	電力総連 (東北電力労組)	新任
副委員長	本間 光裕	自治労 (山形県職連合)	再任	幹事	宮内 智臣	J R総連 (JR東労組)	新任
副委員長	玉城 寛之	県教組	新任	幹事	高橋 一真	J A M (マレコンボネツジャパン山形労組)	新任
副委員長	岡田 洋輔	交通労連 (第一貨物労組)	新任	幹事	井上 貴雄	J P 労組	新任
事務局長	谷口 拓平	全労金 (労金労組)	新任	幹事	渡部 拓郎	電機連合 (山形航空電子労組)	新任
事務局次長	齋藤 利範	情報労連 (NTT労組)	新任	幹事	岡本 朗	森林労連 (林野労組)	新任

連合山形女性委員会「第27回総会」を開催



10月30日（金）、大手門パルズにおいて連合山形女性委員会「第27回総会」が開催され、2016年度の活動方針と新たな役員体制を決定しました。総会では、「様々な業種の女性が集い、課題を明確化し共有化することで、男女平等参画社会の実現、育児や介護をしながら安心して働き続けられる職場環境の整備に積極的に取り組む」ことなどを方針として確認しました。役員改選が行われ、4人の役員が交代、大沼委員長（J A M）が再任されました。

役職名	氏名	構成組織名	区分	役職名	氏名	構成組織名	区分
委員長	大沼 香絵	J A M (ナブテスコオートモーティブ労組)	再任	事務局長	大竹 恵里	高教組	再任
副委員長	木口 久仁子	J P 労組	再任	事務局次長	朝倉 幸	電力総連 (東北電力労組)	新任
副委員長	佐々木 久美子	自治労 (大石田町職労)	再任	事務局次長	池田 早紀	情報労連 (NTT労組)	新任
副委員長	秋葉 奈緒子	交通労連 (山形交通労組)	再任	事務局次長	藤本 美恵子	U Aゼンセン (大沼労組)	新任
副委員長	齋藤 奈緒子	県教組	新任				

山形県高齢・退職者連合「第23回定期総会」を開催

10月29日（木）、大手門パルズにおいて山形県高齢・退職者連合「第23回定期総会」が開催され、「社会保障関係要求・山形県高退連8,000人実現・政治課題・原子力エネルギーに依存しない社会実現をめざす」取り組みの基本課題と、9点の具体的課題が活動方針として承認されました。

長年事務局長を務めた樋口浩基さん（自治労退）が退任し、新事務局長として鈴木文夫さん（山形市職労退）が就任しました。



役職名	氏名	構成組織名	区分	役職名	氏名	構成組織名	区分
会長	伊藤 寛	山退教協	再任	幹事	上野 力	ゼンセンOB会	再任
副会長	菅野 節子	出羽路会	再任	〃	小山 宗利	山形交通OB会	再任
〃	江口 一男	J P 労組退	再任	〃	細谷 正実	第一貨物退	再任
〃	小野寺 孝二	県職員退	再任	〃	高橋 壮一	全日通退	再任
事務局長	鈴木 文夫	山形市職労退	新任	〃	山川 長生	ろうきん退山形	再任
事務局次長	岩本 勝利	東北電力OB会	再任	〃	志鎌 一夫	J R 総連OB会	再任
〃	柏木 実	連合山形	再任	〃	石山 豊	最上地区高退連	再任
幹事	斎藤 裕治	N T T 退	再任	〃	渡部 啓一	酒田飽海地区高退連	再任
〃	斎藤 壮一	庄内交通交寿会	再任	〃	佐々木 敏安	西村山地区高退連	再任
〃	太田 良一	山退教協	再任	〃	菊地 英士	北村山高退連	再任
〃	梅津 一春	山高退協	再任	〃	小泉 信三	田川地区高退連	再任
〃	三浦 武	秋田山形林退会	再任	監事	秋葉 聖史	県職員退	再任
〃	楨 正義	農水省退	再任	〃	森谷 昭江	出羽路会	再任
〃	佐藤 昭宏	上山市職労退	再任				

パワハラに関する相談が激増 —2015年度の労働相談状況

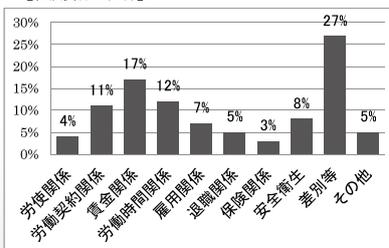
2014年10月から2015年9月末までの1年間における労働相談件数は、224件ありました。そのうち81件がパート、アルバイト、契約社員、派遣社員などの非正規労働者からの相談で、全体の約36%となっています。

相談関係別で見ると、パワハラ、マタニティーハラスメント、嫌がらせなどの差別関係の相談が最も多く、全体の27%を占めています。近年、とくにパワハラに関する相談が増加しており、昨年度はこれまで多くを占めていた賃金関係や雇用関係の相談を大きく離して多くの相談が寄せられました。次いで多かったのが、賃金関係で、不払い残業や賃金カットの相談で、17%となっています。

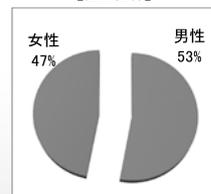
連合山形に常設しているフリーダイヤル（0120-154-052）による相談のみならず、面談しての相談から個人加盟労働組合の「れんごう山形ユニオン」に加盟して会社との交渉に至るケースもあります。今年度、「れんごう山形ユニオン」として山形県労働委員会にアセスン申請しましたが打ち切りとなり、その後も団体交渉を続け、解決に至った事案もあります。

他にも数年前からの相談を引き続き継続して対応している事案が複数あり、賃金未払い関係やメンタル不調による休業など、継続して対応しています。

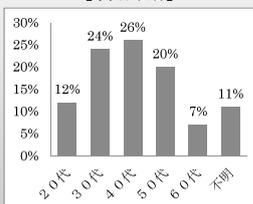
【相談関係別割合】



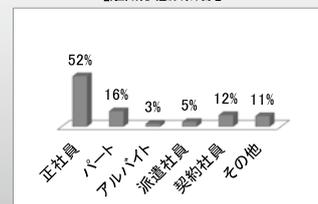
【性別割合】



【年代別割合】



【雇用形態別割合】



東北ろうきん ウィンターキャンペーン2015

キャンペーン期間

2015.11/1 (日)
~12/31 (木)

店頭表示金利に金利上乘せ

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は
店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。

※「新規預入れ」のみ。「増額預入れ」は対象外です。※窓口での預入れに限ります。
※上乗せ金利は、「初回満期日」までとなります。※個人のお客様が対象となります。
※「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。

下記対象取引のいずれかをご契約・お申込みいただいた方に、

もれなく

つや姫〈無洗米〉300gをプレゼント!

- | | |
|------|---|
| 対象取引 | ①定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え) |
| | ②積立型預金(財形・エース預金)の年間積立額5万円以上の新規契約または3万円以上の増額契約 |
| | ③マイプランの新規ご契約 |
| | ④無担保ローン(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の新規ご契約 |
| | ⑤住宅ローンの新規お申込み |

※ATMやろうきんダイレクトでの取引も対象となります。(店頭でのお申し出が必要となります。)
※キャンペーンのプレゼントは、個人のお客様が対象となります。
※つや姫のプレゼントは「1お取引項目につきお一人様1つ」となります。
※「特別金利定期預金」はプレゼントの対象外となります。
※対象の商品概要については、店頭にて説明書をご用意しております。
※詳しくはお近くのろうきん窓口にお問合せください。



(イメージ)

2015年11月1日現在

東北労働金庫山形県本部
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>

0120-1919-62

手頃な掛金で、火災、地震、風水害、雪害など幅広くカバー



全労済の

住まいる共済

(新)火災共済・(新)自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済



掛金がお手頃な
「マンション専用プラン」を新設しました!



地震保障をさらに充実。
大規模半壊時の保障を手厚くしました!
※新自然災害共済における損害認定区分



3つの特約を新設。さらに
幅広い安心をご提供します!
・個人賠償責任共済・類焼損害保障特約・盗難保障特約

非営利だから、できる保障がある。全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめがけています。出資金をお支払い
ただいて各都道府県生協の組合員になれば、各種共
済をご利用いただけます。

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

詳しくは全労済のホームページへ。

保障のことなら

全労済山形県本部
(山形県勤労者共済生活協同組合)

〒990-0827 山形市城南町1-18-22
TEL 023-646-4666 (代)

ZENROSAI NEWS

0615B014

新登場。
新しい住まいの保障、

